

節水・ごみの分別・節電に御協力ください

本年度の環境目標である「水道使用量の抑制」、「電気使用量の抑制」及び「可燃物資源化率の維持向上」について、本年度の上半期実績が基準年度である平成24年度の上半期実績を超過しました。本年度の目標達成に向けて、下半期は一層の御協力をお願いいたします。

水道使用の抑制について

冬場になるとお湯を沸かす機会が増えることから、電気やガスの使用量と共に、水道使用量が増える傾向があります。



- ★ 蛇口の閉め忘れに注意する。
- ★ うがいの際にはコップを使用する。
- ★ 必要以上にお湯を沸かさない。
- ★ やかんから炎がはみ出さないように調整し、沸騰後は速やかに火を止める。

可燃物資源化率の維持向上について

可燃物資源化率の維持向上について改善のためには、

- ★ ごみの分別を徹底する。
- ★ 資源ごみ（紙類）以外の燃えるごみを削減する。

仕事で出たごみ以外は出来るだけ持ち帰りを行うようにするなど、各自でごみの削減を意識して行動しましょう。





節電に御協力ください

環境省では平成 17 年度から、冬の地球温暖化対策の一つとして、過度な暖房使用を控えながらも快適に、心地良く過ごすことのできるライフスタイル「**WARM BIZ**」(ウォームビズ)を推進しています。

今年も、3月31日までをウォームビズ期間として、暖房時の室温 20℃(オフィスでは 19℃)に取り組んでいます。

部屋の温度を調節するちょっとした工夫

- ★ 日中は外光を取り入れ、夜間はカーテンやブラインドで外気を防いでおく。
- ★ 湿度を調整する。
バケツなどに水を汲んで部屋においておくだけでも、気化式のように室内の空気を程よく加湿してくれます。
- ★ パーテーションの配置で逃げる熱を防ぐ。



夏季の節電よりも、冬季の節電の方が省エネ効果や CO2 排出量の削減に効果があるといわれています。夏季の節電効果が無駄にしないためにも、冬季も引き続き節電に御協力ください。

乾燥しがちな冬季には植物や加湿器を置くなどして体調管理にも気を付けながらウォームビズに御協力ください。

<http://funtoshare.env.go.jp/action/warmbiz/about/index.html>

WARMBIZ

(環境省HP)